

平成 27 年度「市民による事業評価・提案会」評価・提案内容

評価・提案テーマ 仕事・雇用

出された質問等	評価・課題	意見・提案等
<p>○快適遠距離通勤補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠距離通勤について、大月起点で 75 キロをシミュレートすると、始発で出て東中野が 8 時過ぎ。就業者には厳しいのではないか。 ⇒9 時就業等の会社が増加してきているので利用者がいるのだと思うが、今後の様子を見ながら検討をしていく余地もあると思う。 ⇒交付金を活用して進めている事業であるが、実績やニーズを見ながら改善を加えていきたい。 ・距離などについて見直しを行っていくのか ⇒幅広く全面的に見ていく必要があると思う。 ・文大生にも周知をしていくと聞いていたが、ここで初めて聞いた ⇒大学にもポスターを貼るなどして PR している。キャリアサポートセンターにも置いている。 ・就職が決まった生徒に対してはいいかもしれない ⇒そういった場所での周知も考えていきたい。 <p>○環境アンテナショップ家賃補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境アンテナショップとは何か ⇒リサイクルや資源の再利用・活用ができるような店舗である。 <p>○SOHO 支援センター、テレワークセンター運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SOHO など、入居者がいない場合の管理費は何にかかっているのか。 ⇒4 万円が商工会へ補助、残りがリース（コピー）代となっている。 ・開設はいつしたのか。テレワークや SOHO では、時代遅れのような気がする。今では自宅でも仕事ができる時代である。 	<p>○都留市快適遠距離通勤補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とてもいい制度だと思うが、距離や期間などの条件面の理由が不明瞭。 ・サラリーマンのみが対象であることに疑問を感じる。 ・卒業する文大生へはインパクトがある。 <p>○企業立地支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部からの誘致が厳しい状況なら、あっても意味のない制度ではないか。 ・水道代支援ということは都留らしい取り組みである。 <p>○SOHO 支援センター、テレワークセンター運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅での企業もできる時代なので、事業自体不要ではないか。 <p>○環境アンテナショップ家賃補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境産業との組み合わせに無理を感じる。 <p>○高齢者継続雇用奨励金支給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気なシニア層の雇用促進としては評価できる。 <p>○小規模商工業者事業資金利子補給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制度改正の効果が上がっていることは評価できるが、あまりに少額で貰わないよりはいいが、支援として役に立っているか疑問。 <p>○創業者支援利子補給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始間もない制度というが、(周知など)努力不足を感じる。 	<p>○快適遠距離通勤補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠距離通勤補助を考える際に、75 キロという距離は遠くて通い切れるかが不安。利用者の生の声などを伝えていけばいいのではないか ⇒アンケートを取っているが、今後は利用者の感想なども役立てていきたいと思う。 ・PR は広報などを活用するとのことだが、どんな一から情報を聞くかということが大事だと思う。利用者の声は重要。 ・通勤補助は一年の補助なのか ⇒最大で 3 年間。 <p>○企業立地支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致が難しく、活用できていないのであれば、地元の商店街をサポートする考えに切り替えるのはどうか。 ・闇雲に他分野の企業を誘致するのではなく、都留に立地することでメリットを感じる業種に狙いを定めて誘致すべき。 <p>○SOHO 支援センター、テレワークセンター運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き室が多いならば、市民活動をしている団体の活動場所としての提供はどうか。 ・入居者に対する「経済的な支援」以外の部分を再考する必要がある。 ・場所を限定せずに、自宅のオフィス化に補助するのはどうか。

出された質問等	評価・課題	意見・提案等
<p>⇒テレワークは平成14年開設。SOHOは平成18年開設。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都留は東京から近いので、フリーランスで仕事をする方にぴったりなまちだと思う。地域内に光通信網をどんどん引くなどすべきで、こうしたSOHOなどのオフィスの活用は無理だと思う。使わないので、いらぬ経費が発生してしまう。 <p>⇒現状は古い施設となっているが、現在はIT等に関係ない創業者を対象に入居してもらっている。現在は保険の代理業など、入居者はIT関連事業者ではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空きをなくす取組は商工会がおこなうのか <p>⇒そうだが、今後は市でもPRをしていきたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SOHOについて、入居期間はそれぞれ3年、テレワークは5年ということだが、その後は市内でビジネスをしているのか。 <p>⇒過去の履歴ではこれまで15件入ったが、オフィスを出た後での創業はしていない。市内事業者の入居はそのうち4件。</p> <p>○企業立地支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業立地支援事業の基準面積とは具体的にどれくらいか <p>⇒5,000㎡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要綱では2か月の基準使用水量などが多いが、水を活用する事業者を誘致することを想定しているのか。水の規制などはどうなっているか。 <p>⇒地下水の保全計画を計画は立てたが、水の活用制限は盛り込まれていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は湧水を使う事業を行っているが、水量が時間帯によって変わる。たぶん、企業が利用しているのだと思う。 <p>⇒今後見直しなどを含め、地下水の保全計画の中で規制ができると思う。</p> <p>○全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の中で実績がほぼない取組に対して、告知等はどのようにしてきたのか 	<p>○特許権等取得促進助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成自体より、知的財産の創出を支援する必要があるのではないか。 <p>○全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援が単なる予算消化に終わらぬよう、本当の意味での助けや励ましになるよう、支援事業の果たす役割を、社会情勢に応じて、常に検証していくことが必要。 	<p>○環境アンテナショップ家賃補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策を主軸に考えて、事業を再考してみるのはいかがでしょうか。 <p>○高齢者継続雇用奨励金支給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所や公的機関が、まず手本となるように、再雇用制度の拡充を行う。 <p>○小規模商工業者事業資金利子補給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都留は小規模事業者が多い地域だと思うので、支援の仕方を再考する。設備資金や明らかに廃業に向かっている企業ではなく、積極的な経営戦略や雇用に対して支援すべきと思う。判定は非常に難しいので、地域企業に密着した金融機関の知見も必要。 <p>○創業者支援利子補給事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所や税理士会など、創業時に接する機関への周知徹底を行う。 <p>○特許権等取得促進助成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷村工業高校が立地し、軽工業の操業が多い都留市こそ、理系の特許や実用新案を提出できる土壤がある。小水力発電運やなどの開発プロジェクトに積極的な支援をして、発明全国一の市を目指す気概が欲しい。 <p>○全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金の優遇策で移住させようという取組が多いが、暮らしの豊かさなどのイメージがわくことが大事。自分にとって都留への移住がどれだけ価値があるのかが重要であると思う。そういった見せ方をしていくこ

出された質問等	評価・課題	意見・提案等
<p>⇒アンテナショップについては、当初、環境に力を入れていた時期に整備したものである。PR不足があるとは思いますが、今後積極的にPRしていきたい。高齢者の雇用補助に関してもさらにPRしていく考えである。経営者連絡協議会や商工会にも働きかけて進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工会をとおしてPRする以外にはどうしていくか。 <p>⇒広報やホームページなどになるかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報・ホームページでは増えていかないと思う。時代にそぐわないために増えないものと、周知が足りなくて増えないものがあると思う。事業の内容を検証し、必要性を見て判断していくべきだと思う。特に知的財産権の制度は、非常に都留市らしいと思う。谷村工業高校との兼ね合いではないかと思う。是非都留市も企業だけでなく、工業系の学校のチャレンジを支援することで特色も出せると思う。 <p>⇒簡単にPRのみではなく、内容を検証しながら進めていきたいと思う。</p>		<p>とがいいのではないかと。すでに有るものの見せ方などを考えていくことが重要。</p> <p>⇒空き家の活用では、民間の方が進めやすいのではないかと。民間などをお願いして、ネットワーク化なども含めて進めていければいいのではないかと。思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提案だが、仕事・雇用で、外部から人を呼びたいときに、都留の特色がないと選べない。特色といえば、大学だと思う。たとえば、仕事などにしても、教育関連のベンチャー企業などを誘致し、大学と連携して教材開発など。それができれば非常に面白いと思う。その企業に補助などで投資できればいいのではないかと。 <p>⇒（山口先生）大学というのは、実は非常に人を集められる施設で、学問は非常にユニバーサルなもの。大学も都留のまちづくりに何等かの形で係るのは必要だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろんなタイプの方が移住してくるのだと思うが、環境などとバランスのとれた仕事場の紹介など、イメージができるような移住者誘致策をすればいいのではないかと。あるものを生かしていく。 ・魅力あるまちというのは、活気のあるまち。地元の商店街をサポートし、プロデュースできれば、まちを歩くことも楽しくなり、活気につながる。 ・補助金全般だが、補助金のために都留に転居しようとは思わない。都留に来たら何がいか、暮らしがどのように良くなるか、がイメージできる方法を考えるべき。 ・企業誘致できるような土地がないということであれば、都内も通勤圏であることを広くアピールして、実際に通勤している人の通勤状況など、当事者の声を集

出された質問等	評価・課題	意見・提案等
		<p>めて情報発信し公開する。</p> <ul style="list-style-type: none">・都市圏から近いことや、地価が安く倉庫が持ちやすいという地の利を生かして、インターネットや宅配サービスを活用する事業形態は都留市ならではの強みになる。また、フリーランスや半分本業・半分農業のような事業形態にも強みを発揮できる。都留市に合った事業形態の企業や事業主を誘致できる戦略を考えてほしい。